●●● 保証書

商品名／型番		
CDラジオカセットプレーヤー YCDRC5G1 (S)シルバー／(W)ホワイト		
保証期間　お買い上げ日から1年間 お買い上げ日　　年　　月　　日		
お客様	〒　　ー ご住所	
	お名前　　様	お電話番号
販売店／住所 電話番号　　印		

■個人情報の取り扱いについて
保証書にご記入いただきました個人情報(氏名・住所・電話番号)につきましては、以下の通り取り扱いをいたします。
○利用目的、記載された個人情報は本製品にかかわる業務においてのみ利用します。
○取得した個人情報は、法律上許される場合を除き第三者に提供することはありません。

ご注意　**保証については「アフターサービス」のページで重要な内容と事柄をご覧いただけます。事前にご一読いただきますようお願いいたします。**

愛情点検

長年ご愛用のCDラジカセ点検を!

こんな症状はありませんか?
■煙が出る ■本体の変形や破損がある
■異常なニオイや音が出る
■その他の異常・故障がある
■ 内部に水や異物が入った

▶▶▶

ご使用中止
電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店又はお客様相談室に点検をご相談ください。

サービスや修理に関するご相談

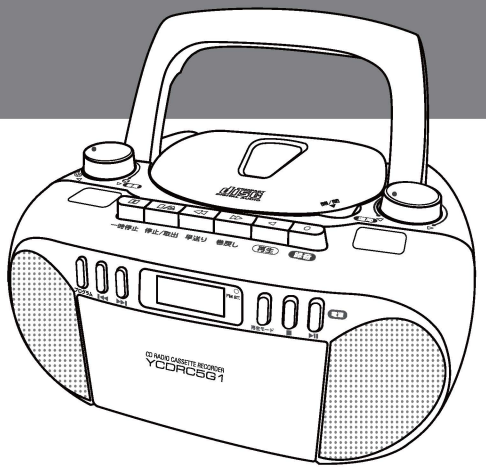
お客様相談室

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
株式会社ヤマダ電機
TEL　0120-258-260(無料)
受付時間 10:00～21:00(定休日:元日のみ)

YAMADA SELECT

CD ラジオカセットレコーダー
CD RADIO CASSETTE RECORDER
YCDRC5G1 (S) シルバー (W) ホワイト

取扱説明書



同梱品
CDラジオカセットレコーダー本体
取扱説明書 (保証書)
電源コード

本製品は一般家庭用です
日本国内専用 USE IN JAPAN ONLY

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
特に『安全のご注意』は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
保証書は本書裏表紙についています。必ずご記入をお願いいたします。

●●● 目次

もくじ …… 02
安全上の注意 …… 03 - 04
ＣＤについて …… 05
カセットテープについて …… 06
各部のなまえ …… 07
電源の準備 …… 08
つかいかた／共通 …… 09
つかいかた／ラジオ …… 10
つかいかた／ＣＤ …… 11 - 12
つかいかた／テープ …… 13
つかいかた／外部入力 …… 14
つかいかた／録音 …… 15
お手入れのしかた …… 16
故障かなと思ったら …… 17
製品仕様 …… 18
アフターサービス …… 19
MEMO …… 20 - 22
保証書 …… 裏表紙

●●● 安全上のご注意 必ずお読みください

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。
製品を安全に正確にお使いいただき、お使いになる人や周りの人々への危害・損傷を未然に防止するために守っていただくこと「⚠警告」と「⚠注意」に分けて説明しています。

記号は<禁止>(しないでください) を表示します	記号は<強制>(必ずしてください) を表示します

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

改造、分解、修理をしない

分解禁止

改造、分解、修理は絶対にしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買上げの販売店又はお客様相談室にご相談ください。

異常等があるときは使わない

禁止

異常（煙が出る・異音がする・異臭がする等）があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。

電源プラグ・コードは正しく使う

禁止

次のように電源コードが破損するようなことはおやめください。
・ねじる・引っ張る・無理に曲げる
・束ねる・加工する・重い物を乗せる
・挟み込む・熱器具と近づける・傷つける
火災や感電の原因となります。

禁止

電源プラグや電源コードが傷んでいる時は使わないでください。
感電・ショート・発火の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

厳守

電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。

厳守

電源プラグのほこり等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。
汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。
※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っぱると、感電・ショートによる発火の原因となります。

長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。
感電や漏電火災の原因となります。

表示された電源電圧以外で使わない

禁止

表示された電源電圧以外では使わないでください。
また、コンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
発熱による火災の原因となります。
※船舶や自動車の直流電源では使用できません。

差し込みがゆるいコンセントは使わない

禁止

コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。
感電や発火の原因となります。

水で濡らしたり、水をかけたりしない

水ぬれ禁止

本機は防水ではありません。
機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

付属の電源コード以外は使用しない

禁止

故障や発熱による発火の原因となります。

乳幼児の手の届く範囲で使用しない

禁止

感電やけがの原因となります。

熱器具の近くに置かない

禁止

樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところで保管する

禁止

誤ってかぶると、窒息の原因となります。

金属物などの異物を入れない

禁止

隙間などから金属物などの異物を入れないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。

⚠注意 人が障害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

設置時・設置場所のご注意

禁止

不安定な場所に置かないでください。
機器が落ちたり倒れたりしてけがをする恐れがあります。

禁止

高温になる場所に置いたり、そのような場所で使わないでください。
変形・変色や火災原因となります。

禁止

油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多いところには置かないでください。
油・水分・ほこりがついた部分を電気が伝わり、火災や感電の原因となります。

電気プラグを抜いてから移動する

厳守

設置場所を大きく変更する場合は、電源プラグを差し込み口から抜いてください。
※接続したまま移動すると電源コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。
※また、電源コードに足を引っ掛け、けがの原因となります。

テレビやラジオの近くで使わない

禁止

電波に影響を与え、雑音の原因となります。

音量に気を付ける

厳守

聴力障害や近隣の迷惑になる場合があります。

移動時は本体を引きずらない

禁止

床や畳みを傷つける原因となります。

お手入れの際は、シンナー・ベンジン・アルコールを使用しない

禁止

本体の破損や変色の原因となります。

電池は正しく使う

厳守

■電池は、単2形×6本をお使いください。
■電池の【＋】、【－】を間違えなように正しく入れてください。
■新旧や種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
■長時間使用しない場合は、電池を本体から取り出しておいてください。
■電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、水などの液体や火の中に投入しないでください。
■電池は充電しないでください。
■電池の【＋】、と【－】を電気を通す金属で接続しないでください。また、ヘアピンや針金などの金属製の物を近くに置かないでください。
■小さなお子様が電池を飲み込んだり舐めないようにご注意ください。

※上記を守らないと、液漏れ・発熱・発火・破裂を起こし、火災の原因となります。
※万一液漏れが起こった場合は、素手で触れないでください。
・液が目に入ったり皮膚についた場合は、目をこすらずにきれいな水で洗い、すぐに医師にご相談ください。
・液が衣服についた場合には、きれいな水で洗い流してください。

●●● CDについて

対応ディスク

CD、CD−R、CD−RW

対応フォーマット

CD−DA

※全ての再生を保証するものではありません。
ディスクの種類や録音状態や記録方法などによっては、再生できない場合があります。

お取扱上のご注意

CDの取扱いは、次の点をお守りください。

■お手入れ時、シンナー、ベンジン、アルコール、レコードクリーナーは使用しない
■鉛筆、ボールペンで書き込みをしない
■シールやラベル等の接着剤が残っているもの、のりがはみ出しているものを使用しない
■ディスク面の印刷に市販のラベルプリンターを使用したものは使用しない

※守らないと故障の恐れがあります

保管のしかた

次のような場所には置かないでください

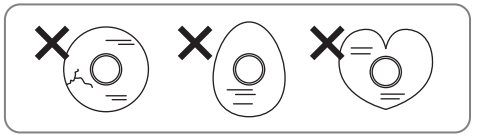
■ほこりの多い場所
■高温多湿になる場所
■ヒーターなどの熱が直接当たる場所
■直射日光が当たる場所

CDの形状について

次のような形状のCDは使用しないでください。

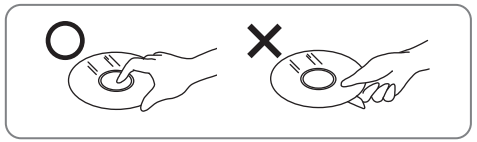
■変形しているもの
■ヒビが入っているもの
■特殊な形状のもの

※回転が不安定になったり、内部で割れて部品を損傷する恐れがあります。



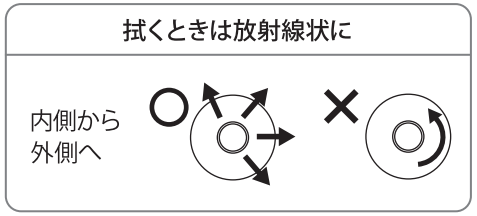
ディスクの持ち方

CDを持つ時はデータ面（光る面）に触れないように持ってください。



ディスクが汚れた時は

水を含ませたやわらかい布等で拭き、その後乾いた布で拭いてください。



結露した時は

乾燥したやわらかい布等で水分を拭き取り、しばらく乾燥させてから、お使いください。

●●● カセットテープについて

再生できるカセットテープ

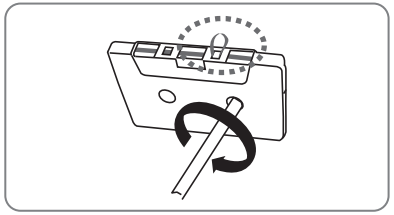
対応テープの種類はノーマルです。
その他の種類のテープ（クロム・メタル）を再生されても音質はノーマルテープのものと変わりません。また、ノーマルテープであっても使用するテープや環境により音質が左右されます。

長時間用のカセットテープ

９０分を超えるカセットテープは短時間のものに比べると、テープが薄く伸びやすくなっています。
小刻みな再生・停止や、早戻し・早送りを繰り返すとテープが回転部分に巻き込まれることがありますのでお気をつけください。

テープがたるんでいる時は…

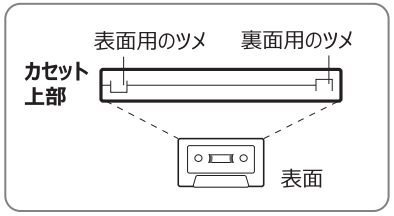
テープにたるみがあると、再生時に機器内部に巻き込まれてテープが切れたり機器の故障につながる恐れがあります。
鉛筆などで巻き取ってから再生してください。



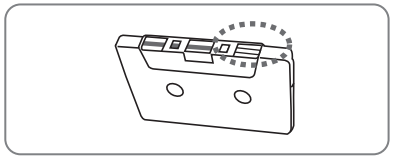
録音について

■上書き録音について
録音時に新しいものが上書きで録音（それまでの録音は自動的に消去）されます。

■録音消去防止用のツメについて
ツメが折られたカセットテープへの録音はできません。

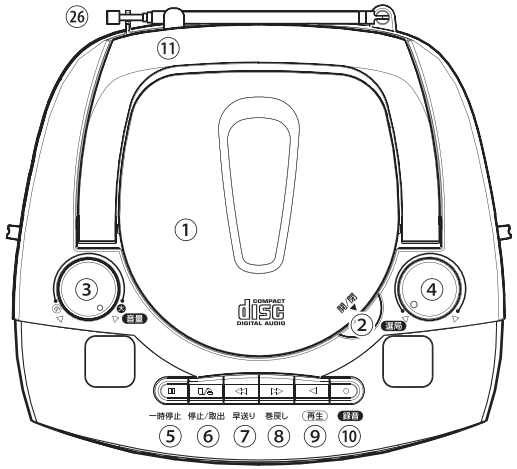


■曲の頭が切れないように録音するには
テープの両端には録音できない部分（リーダーテープ部分）があります。
あらかじめ鉛筆などで巻き取って、録音可能な磁気部分を出しておくと頭が切れずに録音ができます。



※両端の磁気がない部分がリーダーテープ部分です。

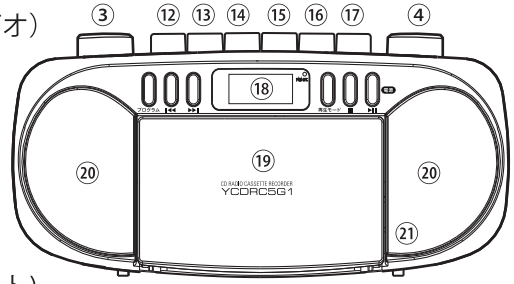
●●● 各部のなまえ



【本体上面】

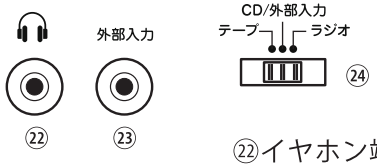
①ＣＤドア
②ＣＤドア開閉つまみ
③音量つまみ
④チューニングつまみ (ラジオ)
⑤一時停止ボタン（テープ）
⑥停止／取出しボタン（テープ）
⑦早送りボタン（テープ）
⑧巻戻しボタン（テープ）
⑨再生ボタン（テープ）
⑩録音ボタン（テープ）
⑪ハンドル

【本体正面】



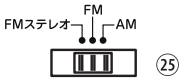
⑫プログラム／
　放送用メモリーボタン（ＣＤ・ラジオ）
⑬早戻し／スキップ（ＣＤ）
⑭早送り／スキップ（ＣＤ）
⑮再生モード
⑯停止（ＣＤ）
⑰再生／一時停止ボタン（ＣＤ）
⑱表示部　⑲カセットドア
⑳スピーカー　㉑内臓マイク(カセット)

【本体左側面】



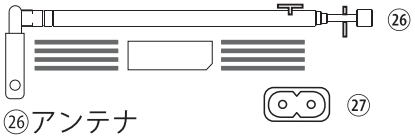
㉒イヤホン端子
㉓外部入力端子
㉔機能切換ボタン

【本体右側面】



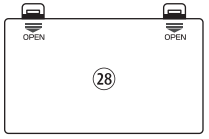
㉕ラジオ切換ボタン

【本体背面】



㉖アンテナ
㉗ＡＣ電源端子

【本体底面】



㉘電池カバー

※本製品仕様・外観は、製品改善・向上の為予告なく変更する場合があります。

●●● 電源の準備

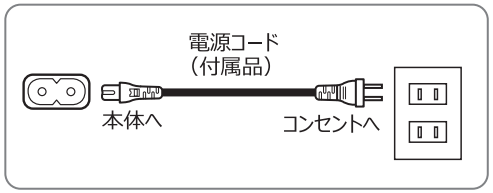
本機は家庭用ＡＣ電源または電池のいずれかの方法で使用することができます

家庭用ＡＣ電源に接続する

付属の電源プラグを接続する

1. 本体背面の【ＡＣ電源端子】に電源プラグ（本体側）を差し込みます。
2. コンセントに電源プラグ（コンセント側）を差し込みます。

※電源コードがＡＣ電源端子に接続されているとAC電源が優先して働きます。

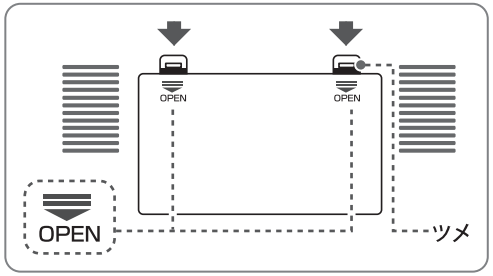


電池をつかう

1.本体底面の【電池カバー】を外す

■電池カバーの「ＯＰＥＮ」部分の上のツメを電池カバー方向に引いてロックを外し、電池カバーを開けます。

※単２形乾電池6本使用

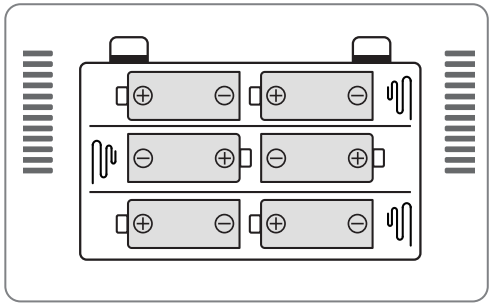


2.電池をセットする

■⊕／⊖の極性を正しい向きに電池をセットします。

3.本体底面の【電池カバー】を戻す

■電池カバーをスライドさせて元に戻します。



※電池で使うときは、電源コードを外してください。

※メーカーや新旧の異なる電池を一緒に使わないでください。液漏れ等の原因となります。
※長期間電池を使用しない時は本体から取り出してください。
※電池は付属品ではありません。

電池の交換時期について

電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、ＣＤやテープが正常に動作しなくなります。

電源を入り／切する

【電源ボタン】を長押し(約2秒間)すると電源が入り、【表示部】が点灯します。

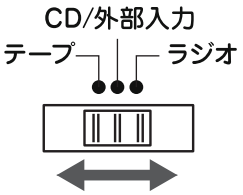
※一度使用された場合は最後に使用したモードで電源が入ります。

電源が入った状態で【電源ボタン】を長押し(約2秒間)すると電源が切れ【表示部】が消灯します。

機能を切り換える

【機能切換ボタン】をスライドさせ機能を切り換えます。

【表示部】に切り換えた機能が表示されます。



テープ

■カセットテープ使用できます。「つかいかた／テープ(P.13)」をご覧ください。

CD

■CD（CD−DA方式のみ）の再生を楽しむことができます。「つかいかた／CD(P.11)」をご覧ください。

外部入力

■外部機器を接続して楽しむことができます。「つかいかた／外部入力(P.14)」をご覧ください

ラジオ

■FM／AMを受信することができます。「つかいかた／ラジオ(P.10)」をご覧ください。

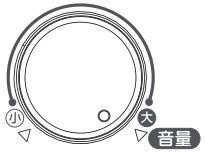
※画像は切り換え直後のイメージです。

音量を調節する

【音量つまみ】を回し、音量を調節します。

■時計周り……音量が大きくなります。

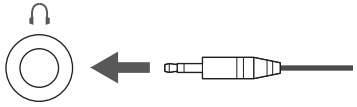
■反時計周り…音量が小さくなります。



イヤホンで聞く　音量にお気をつけください

【イヤホン端子】にイヤホンプラグ（3．5mmステレオミニプラグ対応、市販品）を接続します。

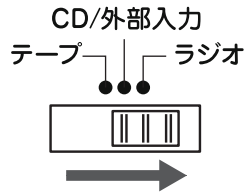
■接続時は音量を最小にしてから接続してください。



※イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

ラジオ機能に切り換える

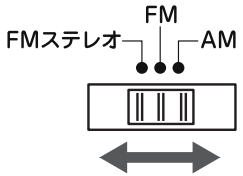
【機能切換ボタン】を『ラジオ』に切り換えてください。

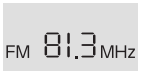


FM／AMを切り換える

【ラジオ切換ボタン】をスライドさせFM／AMを切り換えます。

【表示部】にFM/AM、周波数が表示されます。



FM 

AM

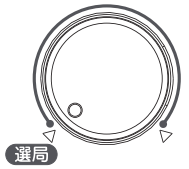
■ステレオ受信について

【ラジオ切換ボタン】でFMステレオを選ぶとステレオ受信ができます。受信中は【表示部】右上のFM ST.ランプが点灯します。

放送局をサーチする

【チューニングつまみ】をまわし、お好みの放送局をサーチします。

【表示部】にFM/AM、周波数が表示されます。



ワイドFM放送について

○本機はワイドFM放送（FM補完放送）に対応しています。
ワイドFM放送とはAMが受信しにくいところでも、FM中継補間局を通じてFMでAMを聞くことができる仕組みです。
ワイドFM放送を受信するにはFMに切り換えて、周波数を合わせてください。

※周波数は地域によって異なりますので各ラジオ局のホームページ等をご覧ください。

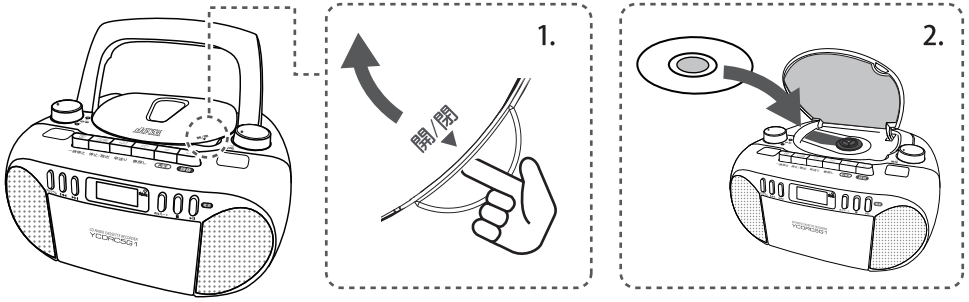
ラジオの受信がうまくいかない場合は…

○ラジオ受信がうまくいかない場合は、窓の近くや本機の向きを変えてお試しください。

○近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

CDを再生する

1.【CDドア開閉つまみ】に指をかけてCDドアを開けます。
※【ハンドル】を閉じた状態（本体後方に倒した状態）でCDドアを開けてください。



2.CDをセットします。
※ディスクのラベル面を上にしてセットしてください。
※CDチャッキング部にCDディスクを「カチッ」と音がするまでしっかりと固定してください。

3.CDドアを閉めます。
CDの読み込みが始まります。終わるまでお待ちください。

CD読み込み表示 CD – – — – の表示が点滅します

CD収録数表示 CD 012 CDに収録されている曲数が表示されます

CD再生曲表示 CD ▶ 001 再生する曲が表示されます

CD再生表示 CD ▶ 00:10 自動で再生が始まります。再生中の時間が表示されます。

再生／一時停止する

【再生／一時停止（CD）ボタン】を押すたびに再生と一時停止が切り換わります。
一時停止中はCD再生表示が点滅します。

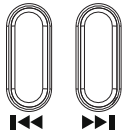
停止する

【停止(CD)ボタン】を押します。
停止中はCD収録数が表示されます。

早送り・早戻し／スキップをする

【早送りスキップ（CD）ボタン】▶▶▌ を長押しすると、早送りします。
【早戻しスキップ（CD）ボタン】▌◀◀ を長押しすると、早戻しします。

【早送りスキップ（CD）ボタン】▶▶▌ を押すと次の曲、
【早戻しスキップ（CD）ボタン】▌◀◀ を押すと前の曲を再生します。
※ボタンを押し続ける間、早戻し／早送りします。



再生モードを切り換える

【再生モードボタン】を押すたびに、再生モードが次の順で切り換わります。
一曲のみリピート ▶ 全曲リピート再生 ▶ ランダム再生 ▶ イントロ再生 ▶ 通常再生

1曲のみ再生 1 CD ▶ 1 00:10 再生中の曲を繰り返し繰り返し再生します

ALL再生 ALL CD ▶ ALL 00:10 CD内の全曲を繰り返し再生します

ランダム再生 RAN CD ▶ RAN 00:10 曲をランダムに再生します

イントロ再生 INTRO CD ▶ INTRO 00:10 全曲を最初の10秒のみ再生します

プログラム再生をする

1.再生中の場合は停止の状態にします。
【停止（CD）ボタン】を押して停止の状態にします。

2.プログラム番号を表示させます。
【プログラム（CD）ボタン】を押してプログラム番号を表示させます。
CD PROG P01 「PROG」「プログラム番号」が点滅する

3.トラック番号を選択します。
【スキップ（CD）ボタン】を押すとトラック番号が切り換わります。
CD PROG 002 「PROG」「トラック番号」が点滅する

4.トラック番号を決定します。
【プログラム（CD）ボタン】を押すと次のプログラム番号が表示されます。
CD PROG P02 「PROG」「プログラム番号」が点滅する

5.次のトラックを登録する
「3.」～「4.」をくりかえしてプログラムを設定します。

6.【再生／一時停止ボタン（CD）】を押すと再生が始まります。
「3.」～「4.」をくりかえしてプログラムを設定します。

プログラム再生表示 CD ▶ PROG 002 再生する曲が表示されます ▶▶▶ CD ▶ PROG 00:10 再生中の表示

次のいずれかの場合、プログラムが解除されます。
（未解除の場合は表示部に「PROG」が表示されます。）
- ○プログラムした曲の再生がすべて終わった場合
- ○【電源ボタン】を押して電源を切った場合
- ○表示部の「PROG」が消えるまで【停止（CD）ボタン】を押した場合
- ○ラジオもしくはテープに機能を切り換えた場合

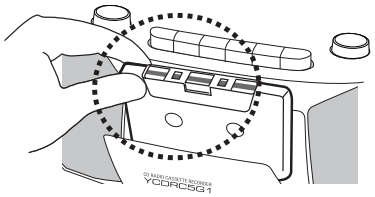
●●● つかいかた/テープ 【機能切換ボタン】でテープ機能に切り換えてください。

テープを再生する

1.停止／取出しボタン（テープ）】を押してカセットドアを開けます。

□/⏏
停止/取出

※再生中に押した場合は停止の状態になります。
停止の状態でもう一度押してカセットドアを開けてください。

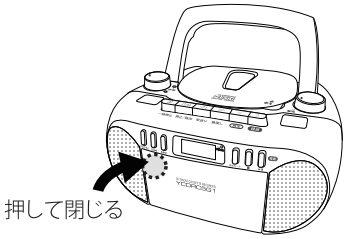


2.カセットテープをセットします。

テープ部分を上に、再生面を手前にしてカセットテープをセットします

2.カセットドアを戻します。

カセットドアを閉めるときは、カセットドア左上部を押して閉じてください



3.【再生ボタン（テープ）】を押すと再生が始まります。

一時停止をする

**【一時停止ボタン（テープ）】を押すと一時停止します。
もう一度押すと解除されます。**

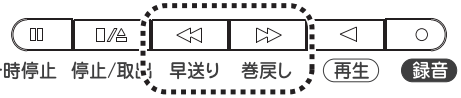
停止する

**【停止／取出しボタン（テープ）】を押すと再生が停止します。
もう一度押すとカセットドアが開きます。**

早送り／巻戻しをする

【早送りボタン（テープ）】または【巻戻しボタン（テープ）】を押すと早送りまたは巻戻しが始まります。

※巻戻し・早送りする際は、必ず手動で停止をしてください。



※テープが巻き戻った後もボタンが押されたままになるとテープと本体のモーターに負担がかかり製品の故障や劣化の原因となります。

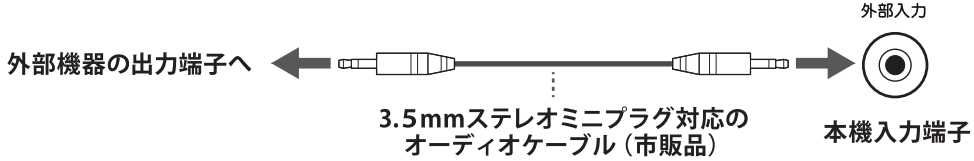
●●● つかいかた/外部入力

外部機器を接続、再生する

※接続前に電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電池を使用している場合は電池を抜いてください。

1.本機の【外部入力端子】に接続します。

2.外部機器の【イヤホン端子／ヘッドホン端子／ライン出力端子】などに接続します。



3.本体の電源プラグをコンセントに差し込みます。

4.【機能切換ボタン】を押してCD/外部入力機能に切り換えます。

外部入力表示 AUX

5.接続した外部機器で再生します。

※接続した外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

6.音量調節をします。

※音量を最大にしても聞こえにくい場合は、接続した外部機器の音量もご確認ください。
接続した外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

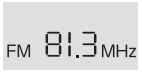
●●● つかいかた/録音

受信中または再生中の内容をテープに録音することができます。

録音する

1.【機能切換ボタン】でテープ(内臓マイク録音・)ラジオ・CD/外部入力の中から録音したい音源の機能を選択します。

※テープからテープへの録音はできません。

ラジオ 

受信状態の良い場所に設置してください。

CD

外部入力

一時停止の状態にしておくとタイミングが取りやすくなります。

テープ

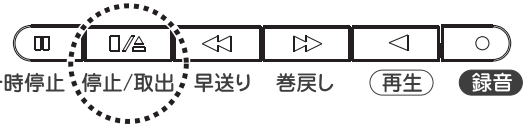
周囲の環境音も含めた音を内臓マイクで録音します。

2.テープをセットして【録音ボタン（テープ）】を押します。

■【録音ボタン（テープ）】は確実に下まで押してください。
■【録音ボタン（テープ）】を押すと【再生ボタン（テープ）】も同時に押された状態になります。

3.録音が完了したら【停止／取出しボタン（テープ）】を押します。

■録音レベルは自動です。最適な状態で録音されますので自由な音量でお楽しみください。



録音した内容を消去するには…

内容を消去したいテープをセットして、無音状態で録音をします。
次のような方法で無音状態となります。
○CD機能でCDを再生せずに録音する
○外部入力機能で外部機器を接続せずに録音する

大切な録音を消さない為に

○カセットテープの後ろにあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
P.4「カセットテープについて」をご覧ください。

著作権について

ラジオ・CD・ミュージックテープ・カラオケテープのような音楽作品は音楽の歌詞や楽曲と同じように著作権法によって保護されています。著作権法が適用される楽曲等が録音されたものを無断で販売、配布することはできません。個人でお楽しみください。

●●● お手入れのしかた

■お手入れに必要な「クリーニングセット」は市販品をご利用ください。
クリーニングセットに明記されている使い方でお使いください。
誤った使い方をすると故障の原因となります。
■お手入れの際は電源コードをコンセントから抜き、電池を外して行ってください。
■シンナー、ベンジンなどの揮発性の高い液体や化学ぞうきんなどは使わないでください。変色、変形、故障の原因となります。

本体

■ゴミやほこりを定期的に取り除いてください。
汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませてよく絞って拭き、その後、乾いた布で拭いてください。

CDピックアップレンズ

■市販のCDクリーニングディスクをお使いください。
お買上げのCDクリーニングディスクにより手順が異なりますので、お買い上げのCDクリーニングディスクの取扱説明書に従ってお手入れをしてください。

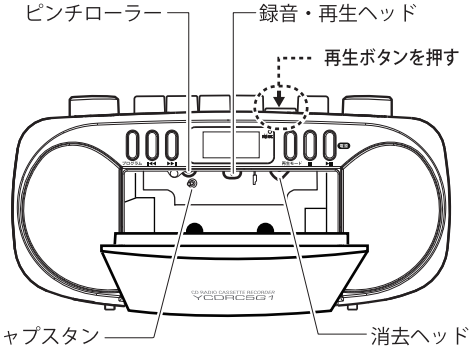
磁気ヘッド／録音・再生ヘッド

■テープに接触する部分は汚れやゴミがつきますので定期的にお手入れをしてください。

録音・再生ヘッド、ピンチローラー（ゴム製のローラー）、消去ヘッドはテープを安定して走行させたり、録音や再生に対して重要な部品です。
汚れた異物が付着すると本来の性能を発揮できないばかりか、テープを巻きこんだり破損させることがあります。

※お手入れの際は、電源を切った状態で行ってください。

1.カセットテープドアを開けます。
2.再生ボタンを押します。
3.クリーニングセットの使い方に従って正しく清掃します。
4.洗浄液などを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。



長時間テープを使用すると、録音・再生ヘッドが磁化されて雑音が出るなど本来の性能を発揮できなくなることがあります。

●●● 故障かなと思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室（裏表紙）までお問い合わせください。

トラブルシューティング

	状　態	推測される原因と対策
共通部	●電源が入らない	○コンセントを使用する場合：電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 →コンセントを電源プラグに差し込んでください。
		○電池を使用する場合：電池が消耗していませんか。 →新しい電池に交換してください。
		○電池を使用する場合：電池の向きが間違っていませんか。 →正しい向きに電池をセットしてください。
	●音が出ない	○音量が最小になっていませんか。 →音量を調節してください。
		○外部機器を接続した場合：外部機器の音量が最小になっていませんか。 →外部機器の音量を調節してください。 ※外部機器の操作方法はその機器の取扱説明書をご覧ください。
	●雑音が入る	○周辺にテレビや他の音響機器がありませんか。 →本機を離してお使いください。
CD部	●CDが再生しない	○上下逆さまに入れていませんか。 →印刷面を上にしてディスクを入れてください。
		○規格外のディスクを入れていませんか。 →P.5「ＣＤについて」をご確認ください。
	●CDが音飛びする	○ディスクにキズや汚れがありませんか。 →キズや汚れのないディスクを入れてください。
		○ディスクが結露していませんか。 →水分を拭いて乾燥させてください。
ラジオ部	●ラジオが受信しない	○受信状態の悪い場所に設置していませんか。 →アンテナの向きを調節してください(FM)。 AMアンテナは本体に内蔵されています。本体の向きを調節してください。 ※お住まいの地域や環境によっては一部の放送局の受信状態が良くないことがあります。
テープ部	●テープの音が小さい ●テープの音が歪む	○録音・再生ヘッドが汚れていませんか。 →P.16「お手入れのしかた」をご覧ください。
	●録音できない	○テープのツメが折れていませんか。録音できるテープをお使いください。 →P.6「カセットテープについて」をご覧ください。
	●雑音が入る	○録音・再生ヘッドが汚れていませんか。 →P.16「お手入れのしかた」をご覧ください。
	●前の録音が残る	○消去ヘッドが汚れていませんか。 →P.16「お手入れのしかた」をご覧ください。

※外部接続機器の設定変更については、接続機器側の取扱説明書をご確認ください。

●●● 製品仕様

共通部

電源	AC：100V　50／60Hz、DC：9V（単2乾電池×6）
消費電力	12W
スピーカー出力	1W+1W
入出力端子	外部入力端子、イヤホン端子
外形寸法	約 W235×D210×H122mm
質量	約 1．46kg(乾電池含まず)
電池持続時間	テープ再生時：約15時間、CD再生時：約13時間、FM再生時：15時間※
電源コード長	約 1．4m
付属品	電源コード、取扱説明書（保証書）

※アルカリ乾電池使用の場合

ラジオ部

受信周波数	FM：76～108MHz（ワイドFM対応）、AM：522～1620kHz

CDプレーヤー部

チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	100Hz＝−2．5dB、1kHz＝0dB、10kHz＝0dB
ピックアップ	半導体レーザー
対応ディスク	CD、CD−R、CD−RW
対応フォーマット	CD−DA

テープレコーダー部

トラック方式	2トラック、2チャンネルステレオ方式
バイアス方式	DC方式
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	早送り：約150秒、　巻戻し：約150秒（c−60テープ使用）
周波数範囲	125Hz＝−2dB、1kHz＝0dB、6．3kHz＝0dB

※本製品仕様・外観は、製品改善・向上の為予告なく変更する場合がございます。
※本体以外の付属品は、消耗品となります。消耗品の紛失・交換はお客様相談室へお問い合わせください。(有料)
※上記の数値は目安です。使用状況・環境により異なります。
※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

●●● アフターサービス

保証書

■保証書は販売店にて所定事項（販売店名、お買上げ年月日など）を記入もしくは、保証書添付レシートを印字してお渡ししますので、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
■保証期間はお買上げ日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
■保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
■保証期間が過ぎている時はお買上げの販売店又はお客様相談室にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証規定

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
イ.使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
ロ.お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
ハ.火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
ニ.業務用としての使用、車両、船舶に搭載などその一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
ホ.本書の提示がない場合。
ヘ.本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
ト.消耗品の交換及び仕様変更。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記載してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、裏表紙の「お客様相談室」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。

その他

■本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
■アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店又はお客様相談室にご相談ください。
■この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書に発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にお問い合わせください。

●●● MEMO